

平成29年 **3**月の大阪森林便り



今月の木の話

子供がクレヨンで落書きを！

- ・クレヨンは油性のため、水拭きなど通常のお手入れではなかなか落ちません。
- ・フローリングにクレヨンがついてしまった場合は、すぐにアルコールか染み抜き用のベンジンを含ませた布で軽く拭き取ってください。あまり強くこすると塗料が剥げたり、変色の原因になります。
- ・家具などで高級な塗装が施されている場合は、ガーゼに歯磨き粉をつけてこすります。歯磨き粉の粒子はたいへん細かいので、家具に傷をつけることなくクレヨンが落とせます。
- ・白木の柱や板壁についたクレヨンは、こすると余計に広がったりしみ込んだりします。まず布を当て、その上からアイロンで熱します。こうすると溶けたクレヨンが布にしみこみます。布を替えながら何度か繰り返し、最後は薄めた住宅用洗剤にクレンザーを加え、雑巾でこするときれいに落ちます。

(社団法人福岡県木材組合連合会「木のある生活」より抜粋)



ホテルの内装 桧を活用

- ・ホテル運営のホロニックは兵庫県姫路市にあるホテルの客室の一部を改装し、日本の伝統産業を体感できる部屋にします。
- 1室は天井、壁、床を桧でそろえ、播州地方の森の中にいるような空間に仕立てます。

(2017年2月8日 日本経済新聞記事から抜粋)



北米産丸太値上がり 3か月ぶり 米住宅着工好調で

2月積み

- ・北米産丸太の対日輸出価格が3か月ぶりに上昇。
- ・2月積みは前月比1%高。2年ぶりの高値水準。
- ・米国の住宅着工が好調なうえ、産地の積雪で出材が滞り、輸出余力が低下したのが影響。

(2017年2月9日 日本経済新聞記事から抜粋)



吉野の桧 壁材に活用 朝日ウッドテック

- ・朝日ウッドテックは奈良県と共同で、県産の吉野材などを使った吸湿・放湿性の高い桧の壁材を開発。戸建てのほか、マンションやオフィス向けにも販売。
 - ・厚さは3cm近くにして調湿性を高めました。
- (2017年2月11日 日本経済新聞記事から抜粋)



木材、国産化が加速 輸入材は家具で存在感

- ・2015年の木材自給率は33.2%と30年ぶりの高水準。政府は森林資源の活用を進めるため、2025年までに50%超まで高めたい考え。
 - ・2014年の輸入家具のシェアは24%と、過去5年で5ポイント増えました。
 - ・1980年に14万人以上いた林業従事者は2015年に5万人を下回りました。
- (2017年2月17日 日本経済新聞記事から抜粋)



国産木材輸出後押し 日本貿易保険 森林組合に保険

- ・日本貿易保険（NEXI）は国産木材の輸出を支援。
 - ・政府は2019年までに木材など林産物の輸出額を2012年比2倍強の250億円に増やす目標。
 - ・NEXIは昨年7月に、農林水産業向けの輸出保険を始めました。
 - ・輸出先が倒産した場合などに森林組合が代金の95%を受け取る仕組み。
- (2017年2月20日 日本経済新聞記事から抜粋)

